

かさこ弟さんが語る、兄かさこ

取材・執筆：家族の思い出ライター 鮎美紀

幼少期の兄との思い出

僕の兄との最初の記憶は、兄は阪神タイガースの野球帽、僕は巨人の野球帽をかぶって一緒に遊んでいた小学生の頃です。

いろんな遊びをしましたが、まずはガン消し（ガンダム消しゴム）でサッカーゲーム遊び。ガン消しのキャラクターを配置して、ガン消しをバネで飛ばしてサッカーゲームをしていました。

そして野球カード。巨人対阪神で戦うこともあれば、いろんな球団の選手を混ぜ込み、オールスターチームを作って遊ぶこともありました。毎年選手が入れ替わるのでカードを買い直し、二人ともかなりはまりました。

プロレスごっこもしましたね。深夜のプロレス番組をビデオに撮って後日一緒に観戦して、好きなレスラーの技をかけあったり、二人でタッグを組んで父をやっつけたり。

輪ゴム戦争というのもあって、割りばしで鉄砲を作り、二人とも帽子にマスクの完全装備で撃ち合いをしました。

そして何と言っても、ひたすらファミコンです。ファミコンがスーパーファミコンに変わっても、ゲームがスーパーマリオ、ファミスタ、ファミコンウォーズ、信長の野望と変遷はしても、すべての時代を通してゲームは僕たち兄弟共通の遊びです。小さい頃、僕の負けが続いてコントローラーを投げた覚えもあります。

家族旅行もよく行きましたが、実は旅行先の記憶はほとんどなく、電車の中でトランプなどのゲームをしたことぐらいしか覚えていません。兄が社会人になってからも、一人暮らしの兄の家に遊びに行くと（兄は何度か引っ越しをしましたが、僕はそのどの家にも遊びに行っています）、プレイステーションのゲーム「桃太郎電鉄」で深夜2時ごろまで勝負したこともあります。

そうそう、二人でいたずらもしました。家の玄関前のコンクリートに蟻の巣があって、その巣穴にくぎを刺したり、カラスプレーを吹きかけたりしました。でも、兄はそれほどいたずらっ子でもなかったので、僕が一人でいたずらをするの方が多かったかもしれません。

家族の中で僕以外の3人は読書好きですが、僕はあまり本を読みません。ですが、漫画は好きで、少年ジャンプの全盛期には父と3人でジャンプを回し読みしました。ドラゴンボールのコミックは、兄が持っていたものを僕が読みたくなって割安で売ってもらって、それをまた兄が読みたくなって僕が兄に売ったことも(笑)。

兄から受け継いだのはミスチル好き

兄とは5歳離れていますので、ライバルという関係でもないですし、性格的にも距離があって、「近くて遠い存在」ですね。けんかをしたこともほとんどありません。兄からお説教されたり、アドバイスをされたこともないと思います。

ただ、勉強は教えてもらっていました。兄は「基礎が大切」と言っていて、例えば英語でも「文法の基礎ができていないとダメだ」と言っていた気がします。(※かきこ補足：弟の家庭教師という位置付けで親からおこづかいをもらっていた。) 兄は自分でスケジュールを作ってしっかり実行するタイプです。僕はそれができませんが、僕も兄のようにしっかり勉強していれば良かったと思うことがあります。

家族全員カラオケが好きで、1曲100円のカラオケボックスの時代から家族でカラオケに行っていました。兄と二人で、『YAHYAHYAH』(チャゲ&飛鳥)、『奇跡の地球』(桑田佳祐&Mr.Children)、『白い雲のように』(猿岩石)の3曲は必ず歌っていました。兄はミスチルが好きだったので、僕も兄の影響でミスチルが好きになりました。僕は兄のすることを通りマネしましたが、やっぱり性格も得意なことも全然違いますし、僕の中に唯一残った兄の影響は、ミスチルぐらいかもしれません。

兄は「国会議員になる」と言っていた

兄とは、お互いのプライベートなことを話した覚えがありません。ゲームをしながら何か会話はしていたと思うのですが、たわいもない雑談ばかりだったかもしれません。うーん、兄は家でどんな話をしていたのでしょうかね。政治的なことは話していましたね。社会人になってから「国会議員になる」と言っていたこともありました。「その時は、僕が秘書をするからね」なんて話したことを覚えています。

何もかも正反対の兄弟

僕と兄は性格が対照的で、祖父母や両親からは「二人の性格を足して二で割ったらちょうど良い」と言われ続けてきました。僕は外見も性格も母似で、兄は父似です。僕は一夜漬けタイプですが、兄はまじめでコツコツタイプ。僕は冗談を言って人を笑わせることが好きですが、兄は家でも冗談を言ったり軽口をたたくことはありません。兄より僕の方が優しいと言われますが、僕は人に気を遣ってしまうところがあるんです。兄は人の気持ちよりも、わが道を進むことを大事にします。

僕はいろいろ試したい性格で、兄は一度何かを気に入るとひたすらそればかり。例えば、ラーメンでも、兄はあるお店の味噌ラーメンが気に入ると、何度行っても味噌ラーメンしか注文しません。ニュースステーションを見ながら食べていたポテトチップスも同じで、特定のメーカーの「のり塩」しか食べないとか。服装に関してもそうです。社会人になっ

てから、両親が服を買ってくれるというので家族で出かけた時のことです。2着買うと1着無料というサービスで、兄はデザインも色もまったく同じ服を選ぶんですよ。頭は良いのですが、変人氣質で頑固です。

僕も兄も、中学時代にたばこを吸うみたいなことはなく、健全だったと思います。でも、僕の方が兄よりモテていたかもしれませんね。当時は固定電話しかない時代でしたが、女の子から兄に電話がかかってきた、というようなエピソードもありません。(※かさこ補足：中学の時に彼女ができ、お互いの家を何度も行き来していたが弟にはその記憶はないみたい。)

僕は中学で野球部に入っていたので、野球は兄よりうまかったかもしれませんが、兄は僕より足が速くて、50mを6秒2, 3で走っていたと思います。

そうそう、僕は貯金をするタイプ。兄はお金をすぐ使うタイプですね。あと、母が買ってくれたプリンとかアイスも、兄は自分の分をすぐに食べしまって、冷やしていた僕の分まで勝手に食べてしまうんですよ。それで僕は自分のプリンやアイスに「食べるな！」と自分の名前を大きく書いていました。

父との衝突が多かった兄

両親との接し方も僕と兄は対照的です。僕は普段から用事がなくてもまめに両親に電話をしています。兄は必要な時しか連絡をしません。兄は僕と比べられて、父親の反感を買っているのでは損していると思いますよ。僕も兄に「もう少し親に連絡したら？」と言ったことがあります。

僕の家泊りに来るときも、突然連絡があつて来る感じですね。家族へのメールも用件のみ。今回の取材の件での連絡も、最初は「このアドレスでよかったっけ？兄」の一文のみですよ。家族にだけそうかと思っていたのですが、他の方のメールもそんな感じですか？それで大丈夫かなと、少し心配です。

また、兄はバカ正直なところもあります。例えば、父が賞味期限の切れた食品を送ってきたことがあるのですが、僕はお礼だけ言ってこっそり捨てるタイプ。兄は、「こんなものいらぬ」と言ってしまうタイプです。

そんな感じですから、兄と父はよく衝突していました。僕は、父に怒られた記憶といえば、中学生の頃に、テレビのチャンネルを父に譲らなかつた時ぐらいしか記憶にないのですが、兄は何かと父によく怒られていました。

数少ない兄弟の共通点は…

実は最近、兄のブログを読んで兄弟の共通点を見つけたんです。「写真を撮られる時に笑えないこと」です。兄がブログで、「僕が笑えないので、ディズニーランドでミニちゃんに脇腹をくすぐられた」と書いているのを読んで笑ってしまいました。実は僕も写真を撮る時に笑顔になれなくて、昨年ディズニーランドでグーフィーに脇腹をくすぐられている

のです。

また、父に対する共通認識があるという点では兄弟で団結していたと思います。父は「お風呂上がりは牛乳を飲め」「帰ったら手洗いうがい」が口癖。独特のキャラクターで押し付けがましいところがあるので、「ああはなりたくないね」というのが僕たち兄弟の合言葉でした。兄は頑固なところが父に似ていますし、僕も最近自分で「父に似てきたな」と思うことがありますけれど。

「弟をこき使う兄、黙って従う弟」の関係が確立

兄弟関係は、兄に僕が従うという関係で確立していました。二人で留守番している時に、兄に「マックに行って〇〇を買って来て」と頼まれて使い走りもさせられていましたが、僕も「それで丸く収まるなら」という感じで、特に反発しませんでした。

兄の荷物持ちもしていました。兄が大学の時にマクドナルドでアルバイトをしていたのですが、そのアルバイトの最終日。兄がスタッフからもらった特大のビッグマックのクッションを、なぜか僕が持たされて、一緒に家に帰ったことを覚えています。その他、「ミスターのチケット取りするから電話してくれ」と言われたり。生まれた時からそういう関係だったので、僕も疑問を持ったり反論したりということはありませんでした。

昔も今も、僕たちを振り回す兄

昔も今も、兄にはこき使われ振り回されています。振り回されているのは僕だけではなく、兄は突然何かを思い立って周りを巻き込むことがありますね。最近も、静岡の祖母のところに僕と母が先に着いていて、後から兄が合流するというので静岡駅に車で迎えに行ったんです。そうしたら、新幹線から降りてきた兄が「今日は天気が良いから富士山の写真を撮りたい」と言いだし、僕の運転で市内をグルグルと周り、うまく富士山が撮れそうな場所を探しまわりました。1時間ぐらいグルグルして、最終的にスーパーの屋上から写真が撮れて、兄にご褒美として「スーパーで好きなもの買って良いから」と言われ、2,000円程度の食料品を買ってもらうということがありました。まあご褒美をくれたのは良いのですが、つまりは、わがままですね。静岡の祖母の家に行っても、夏なのに「お雑煮が食べたい」とか言っていました。みんな「まったくもう」と言いながらも、不思議と兄のために動くんですよ。

あえて挙げる兄の欠点

兄は動かない人ですね。ゴミ箱に向かってティッシュを投げるのでゴミ箱の周りはティッシュだらけだったり。僕はきれい好きですが、兄の部屋は汚いです。

ティッシュといえば、社会人になって一人暮らしをしている兄の部屋に行ったら、ボックスティッシュがないんです。兄は鼻炎で年中ティッシュが必要なのですが、道端で配っているポケットティッシュをためて、それを使っているんです。僕も一緒に歩いていると

「ティッシュもらって」って言われたりします。ご飯などを奢ってくれたりはするので、ケチというわけでもないのですが。(※かさこ補足：1999年に4カ月のアジア放浪後、トイレットペーパーをティッシュ代わりに使っていて、今もそれは変わらない。なのでポケットティッシュは家では使っていない)

兄は車の運転が上手でもないし、都会に住んでいると駐車場を探すのも大変なので電車の方が良いということで、完全なペーパードライバーです。北海道に旅行に行った時はスピード違反で捕まって、結構な額の罰金を取られたようです。

兄の書く字は不思議で、遠目に見るとすごく綺麗に見えるのですが、近づくと読めないんです。祖母も、兄からの年賀状や手紙の字は読めないと嘆いていました。僕は丸文字で、きれいではないけれど読みやすいそうです。

兄と写真

兄は小学生の頃から電車の写真を撮っていましたし、写真は好きだったと思います。今は猫の写真を撮っているみたいですが、僕からすれば「え？猫とか動物そんなに好きじゃなかったでしょ」という感じ。聞いたら「猫の仕草がおもしろい」とは言っていましたけれど。

兄が結婚する時、「祝儀はいらないから写真を撮ってほしい」と言われました。「身内の写真とか料理の写真とか撮って」と。僕の結婚式では、兄は本当にたくさん写真を撮ってくれました。ほとんどテーブルに着いていないと思いますよ。

昔も今も、変わらない兄

基本的に兄は今も昔も変わっていないと思います。人見知りではないけれど、人付き合いが得意というわけでもなく。淡々とわが道を進んでいます。ブログに「昔のダメな自分」みたいに書いていますが、僕から見て、兄がダメだったり停滞していた時期なども特にないように思います。

兄の唯一の変化は、父親になったことですね。もともと子ども好きではないと思いますが、自分の子どもに対しては、普段見せたことのないようなデレデレした表情を見せていることぐらいでしょうか。母とも「変わったね」と話したことがあります。

兄の現在の活動は驚き

兄は大学でテニスサークルの会長をしていたようですが、そういうタイプでもないのにと意外でした。さらに今の活動については「へー」という感じですね。自分から前に出るタイプではないし、話すことも苦手で講演するイメージもないので、身内はびっくりしています。「本当に人が集まっているのかな？」と。不思議ですね。兄の何が人を引きつけるのかも、身内は理解できていないと思います。動画活動も驚きです。昔は目立ちたいという感じもなかったのが、いつ開花したのかわかりません。兄の最終的な目標はどこなんだ

ろうと思うことがあります。

弟より、兄へ

僕はブログもフェイスブックもしていませんが、兄のブログはたまにのぞきます。最近兄のブログに兄の収入について書いてあり、結構稼いでいるので驚きました。すごいなと思います。ぎりぎりの生活だと思っていたので、正直ちょっとがっかりしました。「どこにも属さないでフリーになって大変だろう」と同情していたのに、「なーんだ」みたいな。もちろん努力しているからだと思いますが、収入が少ない方が「がんばってます」感があって同情しやすかったですね。父も兄がひどい生活をしていたら「そら見たことか」と言えるので、この事実はおもしろくなかったんじゃないでしょうか(笑)。

かきこととしての活動は身内も驚いていますが、兄にはわが道を進んでがんばって欲しいと思います。ブログを毎日書くなんて、僕には絶対できないことです。忙しくても、遊んでいても、体調が悪くても、毎日続けていることは尊敬しています。講座も一度変装して出てみたいですね。全国の人が兄の講座に集まるのはすごいと思います。どういう講義をしているのかわかりませんが、まじめなだけではつまらないので、冗談を含めて人付き合いがもう少しうまくなれば、かきこワールドも広がるのではないのでしょうか。でもまあ、兄はしっかりしているので弟として特に心配はしていません。

最近の兄は弾丸的なスケジュールで、会えても滞在時間が少ないので、またいつかお互いの家族と一緒に旅行などもできたら良いなと思います。

以上